

戦 評

大会名 日本スポーツマスターズ2018札幌大会バレーボール競技
岩手県予選会

期日：平成30年6月23日

会場：オガールアリーナ

男子決勝戦

巖きたかみ 2 $\left\{ \begin{array}{l} 21 - 17 \\ \quad - \\ 21 - 9 \end{array} \right\}$ 0 藤沢クラブ

試合時間 0 時間 43 分

主 審 小野寺 太

副 審 大山 幸司

戦 評

6年連続王者に君臨する巖きたかみと、初の全国大会を狙う藤沢クラブとの昨年と同じ対戦となった一戦。

第1セット、中盤までは一進一退が続きゲームが動いたのは15-15から、巖きたかみは15番佐々木のレフトからの強烈なスパイクで流れを掴み、藤沢クラブからこのセットを奪い先取。

第2セット、巖きたかみは前のセットの勢いのまま13番小田島のセンタークイックから4連続得点を奪い主導権を握る。あとの無い藤沢クラブは10番皆川のライトスパイクと14番岩渕のレフトスパイクを軸に反撃するものの、中盤9連続得点で一気に流れを掴んだ巖きたかみが連取。

7年連続となる王者の貫禄を見せ付け、札幌市で開催される全国大会への切符を手にした。

※ 7～10行にまとめること。

戦 評 者 山影 敦